

組織ガバナンス強化及び組織改善に向けた取り組みについて

今後の方針

日本体操協会は発生した課題を真摯に反省し、継続的な評価と改善を実施し、ステークホルダーの皆様と共に、透明性と信頼性の高い組織運営の推進に努力して参ります。

具体的な取り組みについては以下の通りです。

選手支援

相談窓口の周知と環境整備

相談窓口の周知徹底、ハラスメント等選手が抱える課題に対して迅速に対応できる環境づくりを実施する。

競技力向上と地域交流、普及活動

強化組織内のチームワーク向上、スタッフとの連携強化、全体の意識の飛躍的向上、ステークスホルダーへの感謝など、地域の理解と協力を活用した意識改革と普及活動を推進する。

組織改革

強化本部長会議の設置（種別横断の情報共有）

全種別の強化本部長による「強化本部長会議」を設置し、種別を越えた意見交換、情報共有を活性化させる。

強化本部 SNS（Instagram）開設による透明性向上

全種別の強化本部独自のインスタグラムを開設し、透明性と信頼性向上を理念として情報配信を行う。

関連部署との横断会議、外部人材の積極活用

強化本部と他部署との情報共有、支援に関する意見交換を進め、必要に応じて外部人材の登用やその取り組みを開始する。

教育・研修

委員対象コンプライアンス研修（eラーニング導入予定）

原則として、強化部に限らず協会委員・部員になる者は本会登録時にeラーニング(予定)を受講し、誓約のうえで本会登録を行う。

ナショナル強化全体研修（インテグリティ教育、チームビルディング）

ナショナル強化選手、スタッフに対してインテグリティ教育およびチームビルディング研修を実施する。

セーフガーディング制度導入に向けた検討

ナショナル強化選手がハラスメントなどの危険から守られ、安心して活動できる環境を整えるため、国際体操連盟やJOCと協力してセーフガーディング制度の導入を検討する。

アスリート委員会との連携によるメンタルサポート

ナショナル強化選手がハラスメントではなくとも、練習方法の相談、他選手との接し方、人間関係の相談等できるようOB・OGで構成されたアスリート委員会と共にメンタルサポートの仕組みを検討する。

役員・地域代表者対象の継続研修

例年2月に実施する全国代表者連絡会議において参加者を対象にコンプライアンス研修を実施する。

